

◆ 前 文

- 今年度は、理事長・常務理事・事務局長の交代やヴィラ十二坊・百伝の杜の施設長の交代等、人事的に大きな動きがありましたが、混乱や問題発生もなく、比較的スムーズな移行と安定した運営が継続できています。
- 今年度については、レーベンはとがひらにおいて、8月に新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生し、法人内のみにとどまらず、甲賀圏域や関係団体、滋賀県等へ様々なご迷惑とご心配をおかけしたとともに、大きな影響を与えることになりました。発生施設での実状や感染対策の在り方等を発信したことは、多くの関係者から賞賛を受けました。また、滋賀県としては発生施設への職員応援派遣・代替サービス事業という新しい形作りにも繋がりました。
- 働き方改革の施行とともに、規則関係や労働環境等の改善を法人全体や各拠点等で積極的に進めています。介護保険法や報酬改定などに柔軟に対応し、法人内の連携を図りながら、今後も法人・施設でスピード感をもった改革・改正の検討・対応を進めていきます。
- 新型コロナウイルス感染症の流行により、なかなか地域との連携を図ることが難しい1年でした。また、前理事長の市長出馬に伴い、拠点によっては往診医の交代もありましたが、生田病院との連携もスムーズに行えています。今後も地域になくはならない法人となるよう、福祉・介護・医療の地域ニーズに添えていくことが、我々の責務であると考えています。

1. 経営状況

- 昨年度下半期に増床したレーベンはとがひらについては、軌道に乗せることが出来ており、安定した収入源になっていたのですが、新型コロナウイルスの影響により、各拠点とも一時的な稼働率の低下がありました。特にレーベンはとがひらにおいては、8月に集団感染が発生したことで、特養の稼働へ大きな影響があったことと、その後の風評等もあり、ショートステイやデイサービスの稼働についても、現在でも影響が出ている状態です。福祉医療機構のJ1助成金の活用により、何とか黒字で決算を終えています。大変、厳しい状況でした。
- 美松苑が28年、ヴィラ十二坊が13年を経過し、修繕費は年々増加傾向にあり、修繕積立金はほぼ積み立てた分を取り崩しての対応となっています。今後ますます修繕等が必要となってくるのが確実ですので、大規模な修繕とならないように、今後も計画的かつ迅速な対応に務めていきたいと考えています。
- 職員の採用の仕方や職員の定着とともに人件費が高騰傾向にあります。また、直接採用が困難な社会情勢もあり、紹介料等も人件費の高騰の要因になっています。

2. 人材確保と育成

- 引き続き介護人材不足は全国的に深刻な状況にありますが、当法人での人材獲得は比較的うまくいっていると感じています。新卒も毎年確実に獲得できており、離職者についても、年々劇的に減少しています。
- 引き続きホームページの充実やSNSの整備等を進め、法人の広報を強化してきました。ホームページからの求職の問い合わせも増えてきており、宣伝効果が発揮されてきていると実感しています。
- 近年行ってきた法人全体研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛となりました。法人内の職員の交流の場は、なかなか作れない1年であったことは残念です。
- ベトナムからの技能実習生8名については、法人での就労や日本での生活にも慣れ、多少の個人差はありますが、前向きに実習に取り組んでいます。3号技能実習もしくは特定技能実習への移行等を踏まえ、今後、法人としての方向性を定めていきます。

3. その他

- 新型コロナウイルス感染症の対応としまして、特別防疫休暇の制度化や、集団感染発生場所で勤務する職員への危険手当（一時金）の支給など柔軟な対応を行いました。また、集団感染時の陽性者の労働災害としての認可への尽力や濃厚接触者等への休業補填等、法人として手厚い対応ができたと自負しています。



◎2020年度（令和2年度） 理事会・評議員会等開催状況

会議名	日時	場所	内容	
評議員 選任解任 委員会	4月20日 14:00～	美松苑 会議室	決議事項	評議員の退任・選任
監事監査	5月20日 14:00～	美松苑 会議室	監事監査	
理事会	5月	決議の 省略	決議事項	H31年度事業報告、H31年度収支決算、レーベンはとがひら40増床計画、修繕費用・機器類更新等費用の積立金、資金短期借入・特別融資、定時評議員会の決議の省略による決議、計算書類の備置、
			報告事項	監事監査報告、評議員の選任、新型コロナウイルス感染症拡大予防のための法人対応
定時 評議員会	6月	決議の 省略	決議事項	H31年度事業報告の承認、H31年度収支決算の承認、レーベンはとがひら40増床計画の承認、修繕費用・機器類更新等費用の積立金の承認
			報告事項	監事監査報告、評議員の選任、計算書類等の備置、資金短期借入・特別融資、新型コロナウイルス感染症拡大予防のための法人対応
理事会	6月	決議の 省略	決議事項	
			報告事項	H31年度事業報告の承認、H31年度収支決算の承認、レーベンはとがひら40増床計画の承認、修繕費用・機器類更新等費用の積立金の承認
理事会	9月25日 9:00～	美松苑 会議室	決議事項	理事長及び理事の辞任及び選任、福祉貸付資金借入（新型コロナウイルス対応支援資金の融資）、福祉貸付資金借入（直接貸付の融資）、運営資金の借入
			報告事項	理事長及び常務理事の職務執行状況
理事会	12月12日 14:00～	美松苑 会議室	決議事項	理事の辞任及び推薦、施設長の退任及び選任・副施設長の選任、常務理事及び事務局長の選任、評議員の退任、規程の改訂、レーベンはとがひら増床の指名競争入札、評議員会の開催
			報告事項	理事長の職務執行状況
評議員会	12月19日 14:00～	美松苑 会議室	決議事項	理事の辞任及び選任
			報告事項	施設長の退任及び選任・副施設長の選任、常務理事及び事務局長の選任、評議員の退任、規程の改訂、レーベンはとがひら増床の指名競争入札
理事会	12月19日 15:00～	美松苑 会議室	決議事項	
			報告事項	評議員会での承認事項
理事会	3月13日 14:00～	美松苑 会議室	決議事項	R2年度補正予算、R3年度事業計画、R3年度収支予算、福祉医療機構貸付条件の変更、レーベンはとがひら福祉貸付金借入・担保提供及び保証人に関する事項、諸規程の改訂、評議員の推薦、評議員会の開催
			報告事項	レーベンはとがひら増床入札結果および今後のスケジュール、実地指導の報告、理事長の職務執行の状況報告
評議員 選任解任 委員会	3月13日 15:30～	美松苑 会議室	決議事項	評議員の選任
評議員会	3月20日 14:00～	美松苑 会議室	決議事項	R2年度補正予算、R3年度事業計画、R3年度収支予算
			報告事項	福祉医療機構貸付条件の変更、レーベンはとがひら福祉貸付金借入・担保提供及び保証人に関する事項、諸規程の改訂、レーベンはとがひら増床入札結果および今後のスケジュール、実地指導の報告
理事会	3月20日 15:30～	美松苑 会議室	決議事項	
			報告事項	評議員会での承認事項

2020年度（令和2年度） 社会福祉法人 近江和順会 決算報告

《 貸借対照表 》

2020年（令和2年）3月31日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
2020年度（令和2年度）末		2020年度（令和2年度）末	
流動資産	491,895,761	流動負債	219,650,940
固定資産	2,295,803,570	固定負債	1,377,307,690
基本財産	2,015,753,147	負債の部合計	1,596,958,630
土地	239,361,056	純資産の部	
建物	1,775,392,091	基本金	77,490,910
基本財産特定預金	1,000,000	国庫補助金等特別積立金	673,867,705
その他の固定資産	280,050,423	次期繰越活動収支差額	427,536,771
		純資産の部合計	1,190,740,701
資産の部合計	2,787,699,331	負債及び純資産の部合計	2,787,699,331

《 資金収支計算書 》

2020年（令和2年）4月1日～2021年（令和3年）3月31日

（単位：円）

勘定科目	予算額	決算額
事業活動収入計	1,564,070,810	1,579,492,576
事業活動支出計	1,417,626,135	1,436,503,942
事業活動資金収支差額	146,444,675	142,988,634
施設整備等収入計	30,000	30,000
施設整備等支出計	120,014,000	122,336,190
施設整備等資金収支差額	△119,984,000	△122,306,190
その他の活動収入計	86,015,000	85,704,055
その他の活動支出計	49,228,000	58,479,460
その他の活動資金収支差額	36,787,000	27,224,595
当期資金収支差額合計	63,247,675	47,907,039
前期末支払資金残高	△41,309,000	345,585,782
当期末支払資金残高	21,938,675	393,492,821

《 事業活動収支計算書 》

2020年（令和2年）4月1日～2021年（令和3年）3月31日

（単位：円）

勘定科目	当年度決算	前年度決算
サービス活動収益計	1,580,837,116	1,528,569,468
サービス活動費用計	1,557,994,613	1,470,025,170
サービス活動増減差額	22,842,503	58,544,298
サービス活動外収益計	5,863,176	4,010,443
サービス活動外費用計	13,139,241	15,092,917
サービス活動外増減差額	△7,276,065	△11,082,474
経常増減差額	15,566,438	47,461,824
特別増減の部収益計	29,999	355,939
特別増減の部費用計	44,527	377,343
特別増減差額	△14,528	△21,404
当期活動増減差額	15,551,910	47,440,420
前期繰越活動増減差額	403,580,806	346,389,756
当期末繰越活動増減差額	419,132,716	393,830,176
次期繰越活動増減差額	427,536,771	403,580,806